

市川市議会議員

石原よしのり通信



市役所新庁舎、階段追加で開庁5か月延期の是非

今議会で最も議論の集中した大きな課題は、新庁舎問題でした。

今年8月に、市長が突然この移転・業務開始の時期を5か月延期すると発表したことが発端です。

現在、市役所の新庁舎は、来年7月の完成に向け工事が進んでいます。

市長は、昨年の就任後、IT 技術を活用した先進的な市役所を目指して新庁舎計画の見直しを始めたようです。その結果、新庁舎のオープンに合わせ、手続きのワンストップサービス（市民が窓口を回るのではなく、一旦席についたら職員の方が入れ替わり手続きをする）を導入することと、庁舎1階に市民交流スペースを広く取るという案を、発表しました。

問題は、そこにあえて中央階段設置と開庁延期を抱き合わせてきたことです。新庁舎の建物完成後に、1階と2階の執務室の間に穴をあけて階段をもう一つ作る追加工事をを行い、そのため開庁が5か月遅れ2021年1月になるというのです。階段は、市民を待たせないために必要で、市民と役所の交流を促すのに有効だというのが理由です。

しかし、開庁延期による影響は、追加工事費だけではなく、5か月間遅れることで仮庁舎維持経費、駅から遠い不便な仮庁舎に来庁する市民や職員の無駄な労力や時間、庁舎分散による業務の支障、市役所が戻って来るのを待つ八幡商店街の売上げ減など、もっと大きな影響があるでしょう。そして階段まわりのスペース分執務室の床面積が減り、使い勝手が悪くなるなどの支障も出てきます。

9月議会、そしてこの12月議会でも激しい議論がありました。しかし、階段で1階と2階の行き来が多少便利になるとはいえ、どうしても階段が必要という主張は納得できません。市議会は来年8月に開庁するよう求める決議案を24対8の賛成多数で可決しました。

私は、追加の階段設置はせず、ワンストップのサービス開始と市民交流スペースの確保をした新庁舎を、当初計画通り来年8月に開庁し、数年後に検証して必要なら他の手直しも合わせて改造すればいいと思います。

市長は次回の市長選挙の公約に掲げて市民に問えばいいのではないのでしょうか。



「石原よしのり市政報告会」

12月議会の報告、市政についての意見交換

日時： 1月4日（土）15:30～17:30

場所： アイリンク会議室（市川駅南口、タワーズイースト3階行政サービスセンター内）

お気軽にお出かけください。（入場無料です）



テスラ車問題の総括



市長車として導入した米国製高級電気自動車(テスラ車)は、結局11月にリース契約を解除して、引き取られていきました。しかし、これで終わりで何もなかったことにすることはできません。

周囲の反対を押し切って導入し、市民とマスコミから大きな批判を浴び、市のイメージを大きく損ない、事態収拾のために職員に多大な労力をかけさせたことなど、直接のリース関連費用にとどまらず大きなダメージを与えたことを肝に銘じなければなりません。

今議会で、4か月半のテスラ車使用期間中、このテスラ車は市長の通勤以外にはほとんど使われなかったこと、当初の目的であった環境面での市民へのPRの効果を果たすことはなかったことが明らかになりました。市長はいまだに「テスラ車導入は間違っていない。リース解約で環境政策が逆行した」と主張していますが、ここは素直に間違いを認め、どうしてこのような結果になったかを反省し、再び繰り返さないよう教訓とすることが重要なのではないのでしょうか。

災害への備えについて

今秋、台風15号、19号、21号による暴風雨では、市内各地で家屋の浸水、道路等の冠水、停電などの被害が出ました。

市も全力で対応に当たったのですが、防災無線が聞こえづらい、市役所のインターネットアクセスの支障、国府台体育館などで江戸川区、葛飾区から避難者が数百人受け入れた際の対応、ペットの同行避難・同伴避難の混乱、防災備蓄品の提供での混乱など、様々な課題が出てきました。私たち議会も担当部局と共に検証見直しを進めていきます。

やはり、自助、共助の重要性は改めてお伝えしたいと思います。大災害では行政は、市民の皆様をあまねく助けることはできません。震災、水害時に命を守る対策、3日分の水、食料などの備え、そして近所の方々との日ごろからの交流の大切さを知ってください。

みなさんの生活に密着した市政を共に考えていきましょう。

石原よしのりプロフィール

- 1983年 東京大学卒業 (農学部 森林・林業政策専攻)
- 1983年 王子製紙入社。以後27年間、工場現場をはじめ事業管理、経営企画、海外事業を担当
- 1990年 米国 Wake Forest 大学大学院卒業 (経営学修士 MBA)
- 2011年 市川市議会議員に当選、現在3期目

連絡先

〒272-0826 市川市真間 4-11-C202

TEL : 047-710-0958

FAX : 047-710-0959

メールアドレス : yoshinori.ishihara@gmail.com

ホームページアドレス : <http://ishihara-yoshinori.jp>

